# 耕運機取扱説明書

# TIG5058

Company Name:　HAIGE　Industry Co., Ltd
Company Address: 〒370-0614 群馬県邑楽郡邑楽町赤堀 2656　☎0276-89-8605

目　次

1．安全上のご注意……1
2．取り付け……2
3．ご使用前の準備……2
4．使い方……3
5．保守・点検……4
6．品質保証……5
7．表示ラベルの意味……6
8．主要諸元……6

## 1 安全上のご注意

このたびはハイガー製耕運機をお買い上げ賜わり厚くお礼申しあげます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読み頂き本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をして頂いて、いつまでも安全に能率よくお使い下さるようお願い致します。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

1.1 ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1.2 この耕運機の使い方を必ずよくお読みください。法・規則で定めるルールをお守りください。

1.3 この耕運機の使い方を覚えることがとても重要です。特に耕運機のエンジン止め方を必ずご使用になる前に覚えてください。

1.4 安全注意事項:

a. ご使用になる前に耕運機の使い方、使用上の注意事項、安全注意事項を熟知する必要があり、これらの注意事項を従って正しく使用してください。

b. 本取扱書および当社ホームページに掲載されている部品、付属品、アタッチメント 以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないで下さい。

c. 耕運機本体に貼られた警告（warning）、注意（notice）ラベルは、ご使用時の安全操縦をよく説明しているので、ぜひ従って正しく使用してください。

d. 作業中は常に手袋を着用してください。刃部分には十分ご注意ください。刃部分を清掃する時はできれば保護メガネと手袋を着用して、安全に十分ご注意の上行ってください。

e. 未成年者、子供、または使い方よく分からない方のご使用はご遠慮ください。

⚠ f. ご使用時中履き物は滑りにくい、堅固な靴を着用してください。子供、動物を近づけないで下さい。

g. 耕運機を離れる際は、エンジンを止めてください。

⚠ h. 警告! オイルとガソリンはとても燃えやすいため、密閉室内での注入をお止め下さい。またエンジン運転中の注入もぜったいおやめください。たばこはご遠慮ください。万が一、ガソリン漏れが発生した場合は、耕運機を安全な場所でガソリンが使い切るまでエンジンを回させ、漏れ原因を究明し、部品交換が必要となる場合は、当社までご連絡ください。

i. ご使用時に通気パイプに近寄り、または触ることをお避け下さい。稼働時通気パイプ

の温度は 80° に上られるため。

j. 注意！:安全のため、ケーブルとワイヤの状態をご使用頻度によりたまに点検してください。ケーブルが摩耗しやすい部位はよくつなぐ箇所や、引っ張る箇所にあります。ケーブルに欠損が発見された場合は、耕運機の使用をご遠慮し、当社までご連絡下さい。当社生産の耕運機がデータ統計により 1 年以内はほとんど故障発生しませんが、当社より 6 か月無料パーツ交換サービスを提供しております。ご使用に問題発生時は、お気軽にご連絡ください。

1.5　本体にプラスチック部品、ゴム部品が組み立てられているため、化学薬品と離れて保管下さい。

## 2 取り付け

2.1 梱包を開き、パッキングリストに照し合せ、同梱部品がすべて入っているかをご確認ください。

2.2. フロントホイールを取りつけます。フロントホイール ( 図 1, A)を ( 図 2)の通り取り付け、固定ピン (図 1, B)を(図 2)の通りホールに差し込み、その後コッターピン(図 1, C)を固定ピン (図 1, B)に差し込みます。

2.3. ハンドル台座を取りつけます。ハンドル台座(図 3, D)を上側に起こし( 図 4)の通りボルト穴位置を合わせ、スパナでボルトを絞め付けます。

2.4. ハンドルを取りつけます。右ハンドル、左ハンドル (図 5, F)それぞれをハンドル台座(図 3, D)に取り付けて、ハンドルボルト (図 6, G)で一旦仮締めます。ハンドル台座、右左ハンドルを無理なく適切な高さになるまで調整し、整ったらながら (図 6)の通り、ハンドルボルトをしっかり締め付けてください。

2.5. ハンドル固定パネルを取りつけます。パネル (図 5, E)をハンドルに(図 7)の通り、ナットを締めつけて取りつけます。お疲れ様でした、ここまで取り付けが終了です。

## 3 ご使用前の準備

3.1 まず耕地に置いてあった雑物を整理しましょう。くわ、レンガ、金網などがあったらぜひ取り除いてください。

3.2 クラッチシステムをかけられていない状態にします。.

3.3 ガソリンは非常に引火しやすく、補給するときは十分気をつけましょう。

A. No.93 ガソリンをご使用ください。

B. 耕運機が運転中、または運転直後まだ本体が熱い内に、補給は必ずおやめください。

C. 補給時には室外で、室内での補給はお避け下さい。

D. こぼれたガソリンが必ずきれいに拭き取ってください。

3.4 エンジンオイル No.10W-30 をご使用ください。 (約 0.55L を入れください)。

3.5 耕うん深さにより、耕うん爪（ロータリ）を適切な位置にご調整ください。 ( 図 8).

・土が柔らかくて耕うん爪（ロータリ）が潜ってしまうときや土が硬いときには、耕うん深さを浅くしてください。

3.6 エンジン運転中には一切の本体調整を行わないでください。

3.7 排気口、熱い部位、回転部位は作業時に十分お気をつけてください。体または服は必

ず近寄らないで下さい。

3.8 エンジンオイルの交換：エンジンオイルが汚れていると摺動部や回転部の寿命を著しく縮めます。交換時期、オイル容量を守りましょう。

・＜交換時期＞　初回：1ヶ月目または２０時間運転目、以後：6ヶ月毎または 50−60 時間運転毎。また、稼働期前には必ず交換してください。

※高負荷､高温で使用した場合､エンジンオイルは５０時間運転毎に交換してください。

3.9. クラッチケーブルを切れがよく、すべったりしないまでご調整ください。

3.10　耕うん爪（ロータリ）が石、レンガなど硬いものにぶつかったときは、エンジンをすぐに止めて、爪の損傷、曲がり、ガタがないかを点検してください。または爪軸の保持ピン、固定ピン、ボルトなどに脱落、変形がないかを点検してください。

3.11　耕運機本体が大きく震動が発生した場合は、エンジンをすぐに止めて、耕運機を全体点検してください。(この点はとても重要であります)。

3.12.　洗車する場合は電装部品､エンジン周りに水がかからないように注意してください。

3.13　室内で耕運機を使用するのはできるだけお避け下さい。排気ガスが室内に充満しないようドアを開けるなどご注意ください。

3.14　耕運機を使用時には、燃えやすい、割れやすい物、子供、動物を離れて使用下さい。

3.15　交換部品は当社の純正部品をご使用してください。

3.16　耕運機の上には物を運ぶのはおやめください。

3.17　耕運機を使用しない時は、エンジンを止めください。

3.18　使用後の手入れ：本体や耕うん爪部分についた土、わら、草や汚れなどを落してください。３０日以上使用しないときは、燃料タンクとキャブレータ内の燃料を抜いてください。

## 4 使い方

警告!ご使用になる前に、安全上のご注意事項をよくお読み上げてください。

4.1 ( 図 8)の通り、耕うん深さ（耕深）により、耕うん爪（ロータリ）を適切な位置にご調整ください。フロントホイールを（図 13）の通り取り外して下さい。

4.2 エンジンのかけかた：

A エアバルブを閉めます：（図 10）の通り変速スイッチが切り状態にしてください。

B スタートボタンを On 位置に回します ( 図 9);

C スタータワイヤを引っ張って、エンジンをかけます。 ( 図 11)

・スタータワイヤを引いたあと急に手を放さないでゆっくり戻してください。始動装置や周りの部品を破損することがあります。

・運転中はスタータワイヤを引かないで下さい。エンジンに悪影響をあたえます。

D エンジンかけてから 20s-30s 秒暖機運転を行います。エンジン回転が安定することを確認しながら変速レバーを max 位置にします。

4.3 走行：クラッチレバーを握る(図 12H)→クラッチがつながり、本機が走行します。

※急激な操作を行うと、本機が飛び出したり、エンジンが停止したりします。

停止：クラッチレバーを放す→クラッチが切れ、本機が停止します。

※クラッチレバーの操作は、静か（スムーズ）に行ってください。

4.4 エンジンのとめかた：スタートボタンを OFF 位置にします。

警告! 作業する前に堅固な靴、手袋などを着用を勧めます。

## 5 保守・点検

5.1 いつまでも安全で快適にお使いいただくために定期点検を行いましょう。

5.2 室内で耕運機を保管する場合は、火元から必ず離れて保管ください。

5.3 耕運機の運転時間(累計 80-100 時間)に達した場合は、潤滑油（耐温-10°～ 200°）を補給して下さい。

5.4 耕運機が一定の運転時間を達した場合は、クラッチケーブル( 図 14I)が緩んだり、すべったりすることがあります。 固定ナットをゆるめ調整ナット(図 15J) を回して調整してください。

5.5 オイルの交換： 初回使用からエンジン累計運転２０時間後、オイル交換が必要となります。その後、50−60 時間運転毎にオイル交換必要となります。オイル交換時は、平坦な場所で本機のエンジン締付け座面を水平にしてオイル給油キャップ、排油ボルトを外してオイルを抜き、適切な容器に受けます。排油ボルトを洗い油できれいに洗い、新品のシーリングワッシャを使用し、確実に締め付けます。きれいになった後、0.55L 10W-30 エンジンオイルを入れてください。

5.6 エアクリーナ（空気清浄器）の清掃・交換：エアクリーナが目詰まりをするとエンジン出力弱く、不足になり、燃料消費が多くなるので定期的に清掃しましょう。

〈清掃時期〉 ３ヶ月または５０時間運転毎。

※ホコリの多い場所で使用した場合は１日１回または１０時間運転毎。

〈交換時期〉 １年毎または２５０時間運転毎

5.7 長時間使用しないときの手入れ：

A. 耕運機全体をきれいに清掃し、必要なメンテナンスを行い、ペンキが剥がれたところを塗装し直しましょう。

B. ３０日以上使用しないときは、燃料タンクとキャブレータ内の燃料を抜いてください。古くなった燃料は故障の原因となります。抜きかた：キャブレータとつないだ燃料ホースを抜いて、燃料は一度、適切な容器に受け、燃料用の容器に入れて下さい。

C. 完全に燃料が抜けたら燃料ホースを元に戻し、こぼれた燃料をきれいに拭き取り、エンジンをかけて、キャブレータなどに残留の燃料が完全に使い切るまでエンジンをかけてください。

D. 下記事項にご注意ください：

耕運機を以下の場所に置かないで下さい。

1. 通風が悪く、湿気が多いところ
2. 家や、家畜の飼育小屋と近隣する場所
3. 肥料、化学薬品を保管している倉庫

腐食が耕運機本体にダメージを与えるためです。できれば、乾燥した場所にカバをかぶって、ホコリや湿気をシャットアウトして保管してください。

## 6 品質保証

当社が通信販売が中心のため、部品交換作業は当社にて作業が出来ないことが多く、また修理費用を含めたら、商品金額はかなり上乗せになってしまうのため、スペアパーツ提供のみに対応させて頂いております。お客様自身にて修理することをお願い申し上げます。自信のない方は専門知識のある専門業者にご依頼される事をお勧め致しますが、工賃等かかった費用は当社では責任を負いかねのことを予めご了承下さい。

スペアパーツ無料提供期間：　6ヶ月

スペアパーツ有料提供期間：　機種生産中止まで。

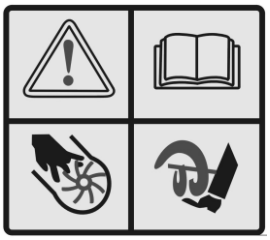
※また機種生産が終了になった場合は、スペアパーツご提供できなくなります。また、製品改良のため仕様やデザインの一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

**故障のときは：**

まずご自身で次の点検を行い、その上でなお異常があるときは、むやみに分解しないで当社までお申し付け下さい。

| 故障現象 | 可能な原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| エンジンがかからない時 | ---------- | ①▪燃料量を確認<br>②▪古い→新しいガソリンに交換<br>③▪無鉛レギュラーガソリンを使用<br>④▪エンジンオイル量を確認<br>⑤▪エアクリーナのろ過部を清掃<br>⑥▪点火プラグ濡れている場合、乾かす |
| エンジンはかかるが、<br>すぐ止まる時 | ---------- | ①▪ エアバルブを閉めます：(図 10)<br>②▪ スタートボタンを On 位置に ( 図 9)<br>③▪燃料量を確認<br>④▪エアクリーナのろ過部を清掃 |
| 耕運機運転不安定 | ---------- | エンジンをかけし直します |
| 本体が異常振動 | ボルトが外れた | ボルトを締め直します |
| | 異物が挟まっている | 小石や、草などを除去 |
| | ダメージ | 壊れたパーツを交換する |
| 耕運作業がうまくできない | クラッチケーブル緩んだ | ワイヤボルトを締め直します。 |
| | 車輪 | 耕うん深さに合わせた位置にする<br>左右を対称位置にする |
| | ハンドル高さ | 適正位置にする |
| | 各部のボルト/ナット | 緩んでいる場合、締め付け |
| | 耕うん爪周り | 草等が絡んでいる場合、取除く |
| | 耕うん爪 | 正しく組みつける |

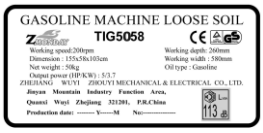
## 7 表示ラベルの意味



1

2

3




4

1: 安全注意ラベル　2: スイッチ位置ラベル　3: クラッチ、ハンドルラベル　4: 銘板

## 8 主要諸元

| | |
|---|---|
| モデル名 | TIG5058 |
| エンジン | 5.0 馬力/3600rpm<br>※空冷４スト単気筒立軸形 |
| 耕作幅 | 580mm |
| 耕作深さ | 200mm |
| ガソリンタンク容量 | 1.2L　※無鉛ガソリン |
| 潤滑油タンク容量 | 0.55L |
| 耕うん爪（ロータリ）直径 | 260mm |
| 耕うん爪（ロータリ）回転スピード | 200rpm |
| 本体寸法 | 1546×580 × 1012mm |

産業汎用製品についてのお問い合わせ・ご相談は、
ハイガー・HAIGE 産業株式会社
〒370-0614　群馬県邑楽郡邑楽町赤堀 2656
☎：0276-89-8605　　0276-89-8606
✉：support@haige.jp
URL：http://haige.my-store.jp/